

分野 基礎分野・科学的思考の基礎			
授業科目名	単位	1単位	開講時期
教育と論理	時間	30時間	1年前期
講師名	佐藤 仁	実務経験	
講師名	森龍之介	実務経験	
授業概要			
<p>教育と看護の共通点から看護の役に立つ方法や考え方を学び、看護職としての教育的役割の基盤を養う 教育学を学ぶことで専門職業人として主体的に学ぶ姿勢を身につける。 論証を中心とした論理的な思考をトレーニングすることで、論理的思考力、読む・書く・伝える力を身につける。 論理的思考を学ぶことで看護職に必要な判断能力、問題解決能力、の基礎を養う。</p>			
到達目標			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育を成り立たせる基本的な構成要素（教授・訓育・養護・発達）について説明することができる。 2. 目標と評価の関係、考え方、方法について述べるができる。 3. 現代教育の課題について、自分の考えを述べるができる。 4. 専門職として自主的に学ぶこと、生涯学習の重要性を述べるができる。 5. 論理・論証とは何かを説明することができる。 6. 文と文の関係性を明確にすることができる。 7. 帰納的論証について説明することができる。 8. 論理的に書くための一文一義、パラグラフを理解し、表記できる。 9. 論理的に読む際の4つのステップと5つのポイントを説明することができる。 10. 学びを生かして、論理的に読み、文章を書くことができる。 			
DPとの関連 関連が深いもの◎、関連するもの○			
◎	1. 看護の対象である人間を身体的、精神的、社会的に統合された生活者として理解する能力を養う。		
○	2. 対象の健康状態やその変化に応じて、科学的根拠に基づいた看護の実践能力を養う。		
○	3. 人々の多様な価値観を認識し、やさしい心で接するとともに、専門職業人として倫理に基づいた行動能力を養う。		
○	4. 保健・医療・福祉システム及び多職種役割や連携を理解し、多様な場で生活をする人々への看護を実践できる基礎的能力を養う。		
◎	5. 看護への探求心を持ち、専門職業人として自ら学び続ける姿勢を養う。		
授業の流れ【全体のスケジュール（回数）・学習内容・方法・準備物品など】			
時間	授業内容	方法	備考
1	社会のなかの教育と看護、教育とはなにかー「教育」の概念化	講義ポストテスト	佐藤 仁
2	教育を成り立たせるもの一教授人に教えるということ、他者とのかわり、発達	講義・ポストテスト	
3	教育の目標と評価①	講義・評価表作成	
4	教育の目標と評価②教育のメディアー教育をデザインする；教育目標実現のためのメディア、協働学習の技法①	講義・ポストテスト	
5	教育のメディアー教育をデザインする；教育目標実現のためのメディア、協働学習の技法② 教育の担い手と専門性	講義・演習・ポストテスト	
6	現代教育の課題 ジェンダーとセクシュアリティ、特別ニーズ教育・インクルーシブ教育	講義・演習	
7	キャリア教育、生涯学習、アクティブラーニング	講義	
8	論理・論証とは何か	講義・演習・ポストテスト	森龍之介
9	論理的に考える方法ー帰納的論証	講義・演習・ポストテスト	
10	論証を図で示す	講義・演習・ポストテスト	
11	論理的に書くー一文一義とパラグラフ	講義・演習・ポストテスト	
12	論理的に読む 4つのステップと5つのポイント	講義・演習・ポストテスト	
13	学習のまとめ 論理的に読む	講義・演習	
14	学習のまとめ 論理的に書く	講義・演習	
15	学修のまとめ 論理的に伝える	講義・演習	
受講上の注意			
評価方法 教育・ポストテスト20 レポート30 論理学 ポストテスト25 演習評価25			
使用するテキスト			
医学書院 系統看護学講座 教育学 医学書院			
参考文献			
看護学生が身につけたい論理的に書く・読むスキル			

分野 基礎分野・科学的思考の基盤			
科目名 情報科学	単位 時間	1単位 30時間	開講時期 1年前期
講師名 三角 徳子	実務経験		
授業概要 社会が情報化、国際化と進んでいく中、教育、医療、看護の分野においても情報活用能力が求められている。 必要な情報を収集、整理、科学的に分析する方法を学び情報通信技術(ICT)を活用するための基礎を学ぶ			
到達目標 1. 社会の中で情報や情報技術が果たしている役割や及ぼす影響について述べるができる。 2. 人々の暮らしに役立つICTについて説明することができる。 3. 情報モラルや倫理的責任について説明することができる。 4. 基本的な情報リテラシーについて習得することができる。 5. コンピューターを用いて、基本的な情報の収集・整理・分析ができる。 6. コンピューターを使用してプレゼンテーションができる。 7. 看護師にとってICTを学ぶ意義を説明できる。			
DPとの関連 関連が深いもの◎、関連するもの○			
○ 1. 看護の対象である人間を身体的、精神的、社会的に統合された生活者として理解する能力を養う。			
◎ 2. 対象の健康状態やその変化に応じて、科学的根拠に基づいた看護の実践能力を養う。			
○ 3. 人々の多様な価値観を認識し、やさしい心で接するとともに、専門職業人として倫理に基づいた行動能力を養う。			
◎ 4. 保健・医療・福祉システム及び多職種役割や連携を理解し、多様な場で生活をする人々への看護を実践できる基礎的能力を養う。			
◎ 5. 看護への探求心を持ち、専門職業人として自ら学び続ける姿勢を養う。			
授業の流れ【全体のスケジュール(回数)・学習内容・方法・準備物品など】			
時間	授業内容	方法	備考
1	情報科学と情報社会 情報の定義、特徴、社会と情報	講義 ・ポスト テスト	
2	人々の暮らしとICT、IOT、 Society 5.0 web会議	講義 ・ポスト テスト	
3	保健医療における情報	講義 ・ポスト テスト	
4	情報と倫理 情報モラル、情報セキュリティ	講義 ・ポスト テスト	
5	コンピューターリテラシー	講義 ・ポスト テスト	
6	情報検索、情報処理	講義 ・ポスト テスト	
7	情報検索、情報処理演習	講義・演習	
8	文字情報の整理 (Word)	講義・演習	
9	文字情報の整理 (Word) 計画書、質問紙作成	講義・演習	
10	Excelの基本、表、グラフ	講義・演習	
11	Excel統計	講義・演習	
12	Excel統計	講義・演習	
13	Excel統計	講義・演習	
14	情報の発表とコミュニケーション	講義・演習	
15	パワーポイントを用いたプレゼンテーション グループ発表	講義・演習	
受講上の注意 第8回、9回で質問紙を作成します。医療、看護、福祉に関することからテーマを考え調査、分析、発表を行います テーマに対して計画書、質問紙、統計分析、プレゼンテーションを行います。作成した資料は評価の対象になりますので 指定された期日までに提出すること			
評価方法 ポストテスト40点 演習への取り組み60点 (計画書10点、質問紙10点、統計分析10点 プレゼンテーション スライド資料 20点 プレゼンテーション原稿10点)			
使用するテキスト 系統看護学講座 別巻 看護情報学 医学書院 2022			
参考文献 看護・医療系のための情報科学入門 第2版 サイオ出版 2020			

科目NO.4

分野 基礎分野 人間と生活・社会の理解			
授業科目名 社会学	単位 時間	1単位 30時間	開講時期 1年次前期
講師名 小川 暢祐	実務経験		
授業概要 人間社会は国、市町村、職場、家族、友人といった多様な「社会関係」によって形作られている。社会学は、私たちの周りに広がる世界の新たな側面を探り、社会的存在としての人間を多面的に学ぶ。社会学のキーワードや重要概念を習得する。 「文化」に着目し、人間の存在と文化の意味、文化の多様性、文化と暮らし、文化と生活、文化と健康などについて考えることで異文化を知り、その背後にある倫理や価値観を探求し、社会や文化の理解を深める			
到達目標 1. 社会学の基礎概念について説明することができる。 2. 社会学的視点とモデル（3つの対照的なモデル、意図せざる結果）について例を示して説明することができる。 3. 健康・病気と社会がどのように関連しているかを説明することができる。 4. ジェンダー・家族・地域社会と保健医療がどのように関連しているか、いくつか取り上げて説明することができる。 5. 看護に活用していく社会学的理論について要点を説明することができる。 6. 社会学的立場から看護専門職の役割や意義を説明できる。 7. 時代、地域、民族、宗教などが、人々の経験とその世界観に影響を及ぼしていることを学び、説明することができる。 8. 対象の文化的背景や異文化理解の意義について自己の考えを述べるることができる。			
DPとの関連 関連が深いもの◎、関連するもの○			
◎	1. 看護の対象である人間を身体的、精神的、社会的に統合された生活者として理解する能力を養う。		
◎	2. 対象の健康状態やその変化に応じて、科学的根拠に基づいた看護の実践能力を養う。		
◎	3. 人々の多様な価値観を認識し、やさしい心で接するとともに、専門職業人として倫理に基づいた行動能力を養う。		
○	4. 保健・医療・福祉システム及び多職種役割や連携を理解し、多様な場で生活をする人々への看護を実践できる基礎的能力を養う。		
○	5. 看護への探求心を持ち、専門職業人として自ら学び続ける姿勢を養う。		
授業の流れ【全体のスケジュール（回数）・学習内容・方法・準備物品など】			
時間	授業内容	方法	備考
1	社会学の基礎概念、社会学的視点とモデル	講義・ポストテスト	
2	社会学的視点とモデル	講義・演習	
3	保健医療と社会学、社会調査の理論と技法	講義・演習	
4	健康・病気とストレスの新しい見方ととらえ方	講義・ポストテスト	
5	健康・病気の社会格差	講義・ポストテスト	
6	職業と健康と病気、健康・病気行動と病経験	講義	
7	患者-医療関係者とコミュニケーション、保健医療の専門職	講義	
8	患者-医療関係者とコミュニケーション、保健医療の専門職	講義・演習	
9	性・ジェンダー・家族と保健医療、地域社会と保健医療	講義・ポストテスト	
10	保健医療制度、保健医療の現代的課題	講義・ポストテスト	
11	人間と文化	講義・ポストテスト	
12	個人・家族・家族を超えた繋がり	講義	
13	人生の通過儀礼・宗教と世界観	講義	
14	健康と医療、健康と文化	講義・ポストテスト	
15	命と文化	講義・演習	
	試験		
受講上の注意			
評価方法 ポストテスト30点 演習への取り組み20点 筆記試験50点			
使用するテキスト 系統看護学講座 基礎分野 社会学 医学書院 2022 系統看護学講座 基礎分野 文化人類学 医学書院 2022			
参考文献			

分野 基礎分野 人間と生活・社会の理解			
授業科目名 心理学	単位 時間	1単位 30時間	開講時期 1年前期
講師名 紺田 広明	実務経験		
授業概要 心理学は「こころ」という直接見ることができない対象を扱う学問である。人間の心のはたらきを理解し、看護の対象との人間関係形成の基盤となる知識を養う 人の心の在り方を科学的に洞察し、心理学の知識を踏まえた援助ができることを目指す 人間理解に必要な基礎知識を学び自己理解、他者理解に役立てる			
到達目標 1. 人間の心理や行動の基礎である原理を説明することができる。 2. 各発達段階の特徴・発達課題について説明することができる。 3. 患者の心理を踏まえ、医療従事者として求められる態度・対応について考察することができる。			
DPとの関連 関連が深いもの◎、関連するもの○			
◎ 1. 看護の対象である人間を身体的、精神的、社会的に統合された生活者として理解する能力を養う。			
◎ 2. 対象の健康状態やその変化に応じて、科学的根拠に基づいた看護の実践能力を養う。			
◎ 3. 人々の多様な価値観を認識し、やさしい心で接するとともに、専門職業人として倫理に基づいた行動能力を養う。			
○ 4. 保健・医療・福祉システム及び多職種の役割や連携を理解し、多様な場で生活をする人々への看護を実践できる基礎的能力を養う。			
◎ 5. 看護への探求心を持ち、専門職業人として自ら学び続ける姿勢を養う。			
授業の流れ【全体のスケジュール（回数）・学習内容・方法・準備物品など】			
時間	授業内容	方法	備考
1	心理学とは、対人援助と心理学	講義・ポストテスト	
2	感覚と知覚、記憶	講義・ポストテスト	
3	言語コミュニケーション、知能	講義・ポストテスト	
4	学習とは 古典的条件付け～社会的学習	講義	
5	学習理論	講義・演習	
6	感情と動機付け	講義・演習	
7	性格とパーソナリティ	講義・演習	
8	社会と集団 社会的認知、態度と説得的コミュニケーション	講義	
9	発達①発達の定義、発達段階と課題	講義	
10	発達②乳幼児の発達	講義・ポストテスト	
11	発達③児童・青年の発達④成人、高齢者の発達	講義・ポストテスト	
12	心の適応と不適応、カウンセリング	講義	
13	心の適応と不適応、カウンセリング	演習	
14	医療・看護と心理	講義	
15	医療・看護と心理	演習	
	試験		
受講上の注意			
評価方法 ポストテスト 20点 筆記試験80点			
使用するテキスト 系統看護学講座 基礎分野 心理学 医学書院 2022			
参考文献 看護学生のための心理学 医学書院 2022			

分野 基礎分野 人間と生活社会の理解			
授業科目名 人間関係論	単位 時間	1単位 30時間	開講時期 1年次前期
講師名 馬場 健彦	実務経験		
授業概要 看護を実践するにあたっては対象との援助的関係、信頼関係を築くとともに専門職チーム内での人間関係の形成も重要である。人間関係を形成するための基礎知識やスキルを学び、看護職にふさわしいコミュニケーション能力の基礎を養う			
到達目標 1.人間関係構築において必要な基本理論について説明することができる 2.人間関係の中の自己と他者について理解できる。 3.集団の特性やリーダーシップについて述べるができる 4.人間関係を形成するためのコミュニケーションの仕組みを説明できる。(マスメディア、ICT含む) 5.コーチングについて説明することができる 6.アサーティブコミュニケーションについて理論と方法を説明できる 7.保健医療チームにおける看護師の役割とコミュニケーションエラーの予防について考えることができる 8.人間関係を形成するためのより良いコミュニケーションについて考えることができる			
DPとの関連 関連が深いもの◎、関連するもの○			
◎	1. 看護の対象である人間を身体的、精神的、社会的に統合された生活者として理解する能力を養う。		
◎	2. 対象の健康状態やその変化に応じて、科学的根拠に基づいた看護の実践能力を養う。		
◎	3. 人々の多様な価値観を認識し、やさしい心で接するとともに、専門職業人として倫理に基づいた行動能力を養う。		
◎	4. 保健・医療・福祉システム及び多職種の役割や連携を理解し、多様な場で生活をする人々への看護を実践できる基礎的能力を養う。		
◎	5. 看護への探求心をもち、専門職業人として自ら学び続ける姿勢を養う。		
授業の流れ【全体のスケジュール(回数)・学習内容・方法・準備物品など】			
時間	授業内容	方法	備考
1	人間関係の中の自己と他者：自己認知・対人認知	講義・ポストテスト	
2	対人関係と役割	講義・ポストテスト	
3	態度と対人行動	講義・ポストテスト	
4	集団と個人	講義・ポストテスト	
5	人間関係を作る理論と技法：コミュニケーション(対人、マスコミ、ICT)	講義・ポストテスト	
6	対人コミュニケーション演習	講義・演習	
7	コーチング	講義	
8	コーチング演習、看護への応用	演習	
9	アサーティブ-コミュニケーション	講義・ポストテスト	
10	アサーティブ-コミュニケーション演習	演習	
11	保健医療における人間関係	講義・ポストテスト	
12	保健医療における人間関係	講義・ポストテスト	
13	患者を支える人間関係	演習	
14	家族関係論	講義・ポストテスト	
15	地域を作る人間関係	講義・ポストテスト	
受講上の注意 人間関係を形成するということは、自分を理解し、他者に共感し、相互の関係性を構築していくことです。講義・演習を通してコミュニケーションスキルの基礎を身につけましょう。積極的に参加をしてください。演習時の課題、学習のまとめレポートに対しては期日までに提出してください。			
評価方法 ポストテスト40点 演習(対人コミュニケーション、コーチング、アサーティブコミュニケーション)への取り組み20点 学修のまとめレポート(第11回から15回)40点			
使用するテキスト 系統看護学講座 基礎分野 人間関係論 医学書院 2022			
参考文献 系統看護学講座 基礎分野 心理学 医学書院 2022			